

## 北東アジアにおける経済見通しと経済協力の可能性

北東アジアは、北朝鮮の核及び弾道ミサイル試射、日中韓間の政治的緊張（歴史・領土問題や戦域高高度防衛ミサイル（THAAD）など）に因る地政学的なリスクや、米国のトランプ新政権による保護貿易主義のもつ経済リスクなど、いくつかのリスクに直面しています。こうした状況にも関わらず、北東アジア経済の将来の見通しは相対的に明るい状況にあります。

こうした状況を背景に、このGSDMプラットフォームセミナーでは、北東アジア経済圏（中国、北朝鮮、日本、モンゴル、韓国、ロシア極東地域）の構造的課題について検討し、域内の経済協力の可能性を探ります。米国、中国、モンゴル、韓国、ロシア、日本の専門家が、観光、インフラ整備（石油・ガスを含む）、物流の接続性、貿易・投資などを通じた経済協力の潜在性について評価し、このような協力が、地域内の相互信頼の構築や平和・安全の確保につながりうることを議論します。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：2017年9月14日（木）14：15～17：00

会場：福武ラーニングシアター

（情報学環・福武ホール 東京大学本郷キャンパス内 東京都文京区本郷7-3-1）

主催：東京大学博士課程教育リーディングプログラム

「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」（GSDM）

公益財団法人環日本海経済研究所（ERINA）

共催：東京大学公共政策大学院（GraSPP）

### <プログラム> 【日英同時通訳】

14：15～14：45 **あいさつ** 城山英明（東京大学公共政策大学院教授・GSDM コーディネーター）

**基調講演** 高原明生（東京大学公共政策大学院教授）

14：45～16：45 **パネルディスカッション**

モデレーター：河合正弘（ERINA 代表理事・所長、東京大学公共政策大学院特任教授）

#### ▶ パネリスト発表

バリー・ボスワース（ブルッキングス研究所シニアフェロー）

宋錦（中国社会科学院世界経済・政治研究所経済発展室准教授）

李鐘和（高麗大学校アジア問題研究所長）

三村光弘（ERINA 主任研究員）

金炳椽（ソウル国立大学経済学部教授）

パーベル・ミナキル（ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所会長）

N.バトナサン（モンゴル国立大学ビジネススクール教授）

新井洋史（ERINA 調査研究部長・主任研究員）

#### ▶ パネリスト討議・質疑応答

16：45～16：55 **クロージング** 河合正弘

# 北東アジアにおける経済見通しと経済協力の可能性

※WebまたはFAXでお申し込みください。

## 1 Webでのお申込み

次のURLをクリックして「参加登録」、またはQRコード(→)からお申し込みください。

<http://gsdm.u-tokyo.ac.jp/?p=9869>



## 2 FAXでのお申込み

必要事項をご記入の上、FAX (025-249-7550) にてお申し込みください。

所属機関名			
所属部署・役職			
氏名			
TEL		FAX	
E-mail			

※ご記入いただいた個人情報は、関連行事に関する連絡、ERINA 主催セミナー等のご案内以外の目的では使用致しません。

## ACCESS MAP <http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>

The map shows the Yoyoi Campus (top) and Hongo Campus (bottom) of the University of Tokyo. Key locations include the Main Gate (正門), East Gate (東大前), and various lecture halls. Transportation routes are highlighted in green and red. A red arrow points to the 'Information Ring' (情報学環・福武ホール) area.

都営大江戸線  
本郷三丁目駅 徒歩7分

東京メトロ  
丸ノ内線 本郷三丁目駅 徒歩8分

東京メトロ  
千代田線 湯島駅 徒歩20分

東京メトロ  
南北線 東大前駅 徒歩10分